

その他事項関連

『1. 古川～神岡の夜間運行について』 検討状況

【古川⇒神岡】

	18時台	19時台	20時台	21時台
JR：古川駅着	18:09 (猪谷行) 18:09 (美濃太田行)	19:25 (美濃太田行)	20:08 (猪谷行)	21:12 (猪谷行) 21:28 (高山行)
濃飛バス：古川発	18:45 (神岡行)	19:45 (神岡行)	20:45 (神岡行)	運行なし

【神岡⇒古川】

	18時台	19時台	20時台	21時台
濃飛バス：神岡発	18:25 (古川行)	運行なし	運行なし	運行なし

【目的】

- ・ JR利用者の神岡方面への移動手段の充足
- ・ 夜間の古川方面への移動手段の確保



【当初の運行案】

- ・ 18時～22時の時間帯でデマンド運行
- ・ 夜間割増運賃を導入
- ・ 神岡町市街地と古川駅をつなぐ経路

【課題】

- ・ 袖川地域のアンケートでは、要望する声はずかであったこと
- ⇒移動需要の再調査が必要
- ・ 運行事業者間との調整
- ⇒既存タクシー事業との兼ね合いもあるため、運行方法を再度検討し、綿密な調整が必要

『2. 新型コロナウイルスワクチン予防接種者への移動支援』の実績

【制度概要】

移動に際し、公共交通機関の利用が必要な市民を対象として、自宅から市内のワクチン接種が可能な医療機関までの乗車料金について市が負担するもの。

■ タクシーの場合 片道乗車料金の500円を超える部分を市が負担

■ バスの場合 片道乗車料金200円または300円を市が負担

※復路も支援対象

【実績】

(単位：件)

対象期間	タクシー	バス	計
5/31～6/27 (4週)	617	140	757
6/28～7/25 (4週)	331	88	419
合計	948	228	1,176

(備考)

・ タクシーは4社分、バスは5社分の実績を合計

・ 件数は乗車片道で1カウント

『 3. 飛騨市第二種免許取得支援補助金について 』

新規 公共交通第二種免許取得支援による運転手の確保促進

1 事業費 (単位：千円)	【財源内訳】	【主な使途】
600	一般財源 600	補助金 600

(前年度予算 0)

2 事業背景・目的

全国的に、公共交通事業者（バス会社、タクシー会社）は運転手不足という課題に直面し、公共交通自体の存続が危ぶまれています。公共交通事業者の運転手になるためには、国家資格（第二種運転免許）が必要であり、その取得費用が運転手を目指す個人又は事業者の負担となっていることが一つの要因として考えられます。

このため、取得費用に対する補助制度を創設し、運転手を目指す個人及び事業者の第二種運転免許取得に要する費用の負担軽減を図るとともに、公共交通には欠かすことができないバス・タクシー運転手の確保を促進し、地域公共交通の維持を目指します。

3 事業概要

市内を運行する公共交通事業者が、新たに募集する従業員又は既に雇用している従業員を対象として、二種免許取得に要する費用の助成を行う場合に、当該事業者に対して必要となる助成費用の一部を補助します。

補助対象：市内を運行し、かつ、市内に本店・支店又は営業所を有する公共交通事業者で、従業員の第二種運転免許の取得に要する費用を助成する事業者

補助額：助成経費の1/2 上限20万円

